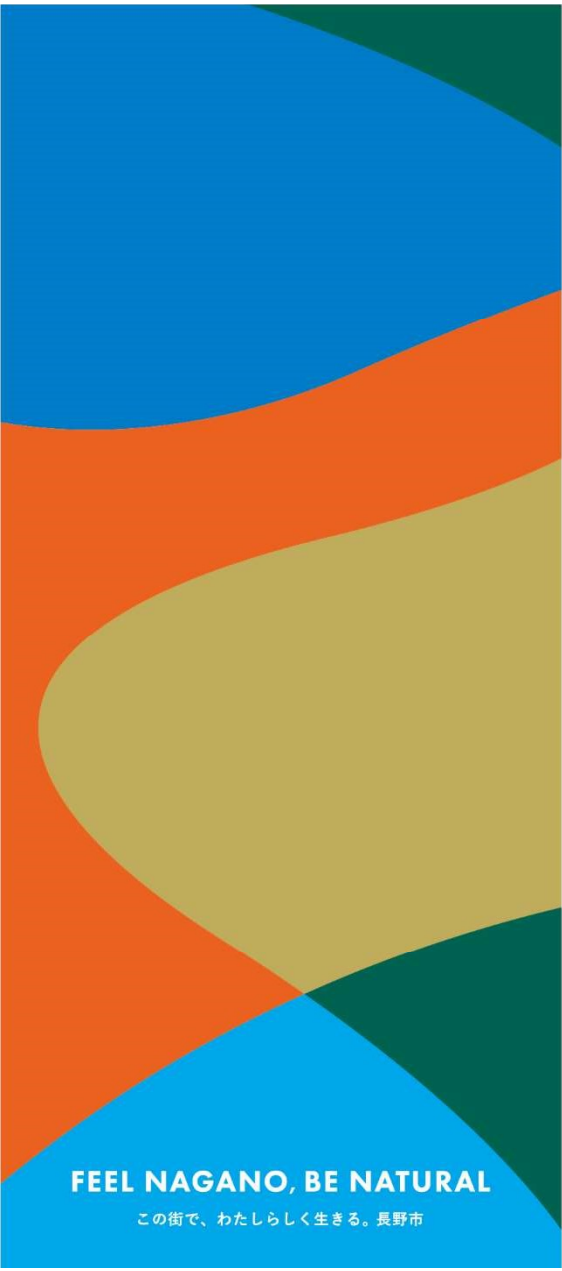


次期総合計画策定に向けた考え方について

令和6年11月
企画政策部企画課

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市



目次

01 総合計画の役割について 3

- (1) 現行計画の振り返り
- (2) 総合計画策定の意義

02 現行計画の課題について 8

- (1) 計画の構造・期間
- (2) 計画の体系・内容
- (3) 市民参画の手法
- (4) 進捗管理・施策評価(PDCAサイクル)

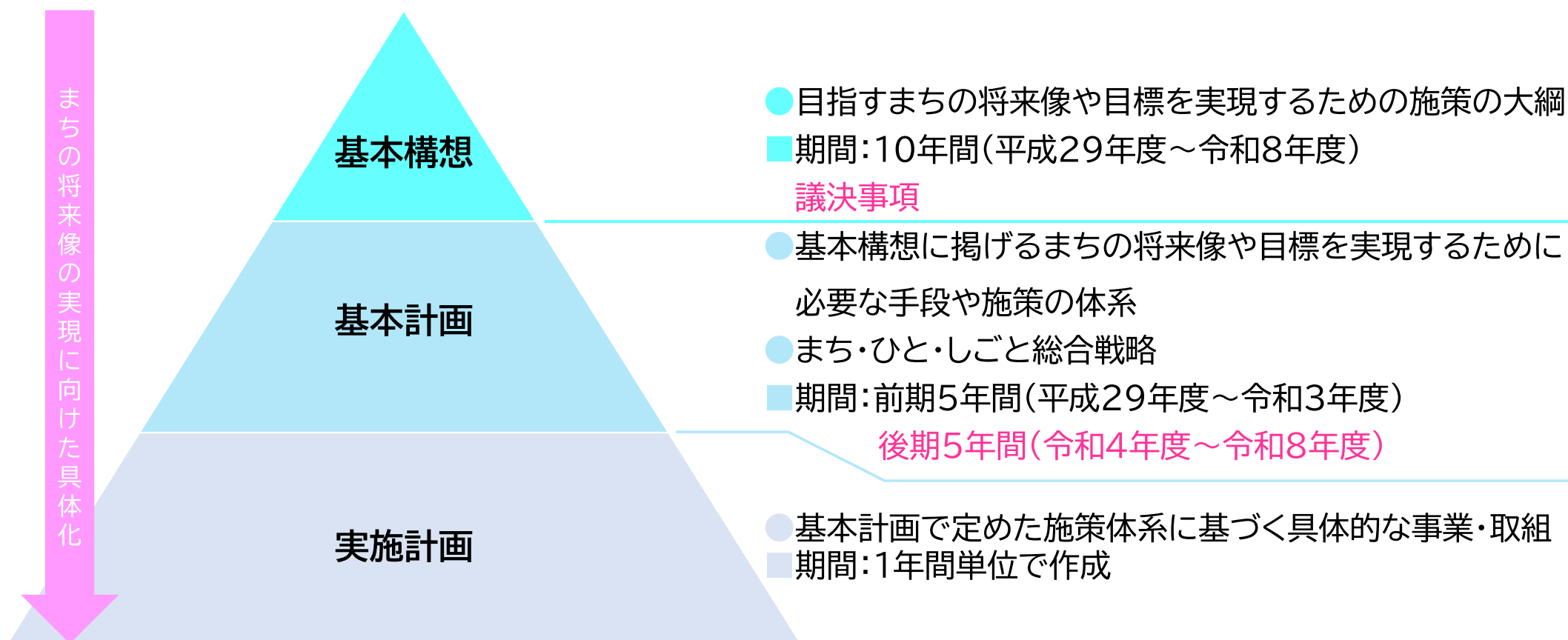
03 意見交換について 13

- (1) 留意すべき社会環境・社会情勢の変化
- (2) 意見交換

04 策定スケジュールについて 15

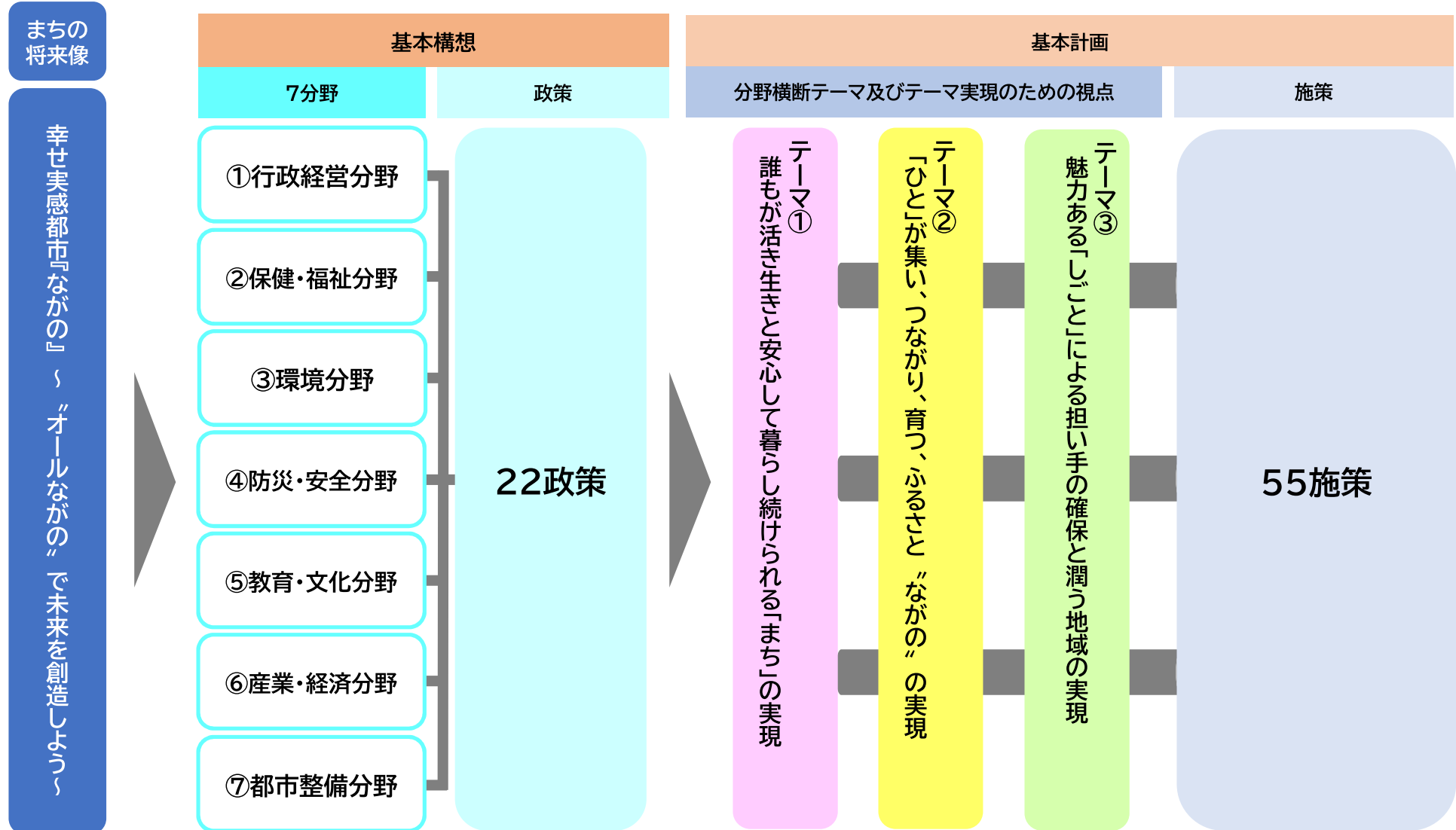
01 総合計画の役割について

(1) 現行計画の振り返りー構成と期間ー



01 総合計画の役割について

(1) 現行計画の振り返り一体系ー

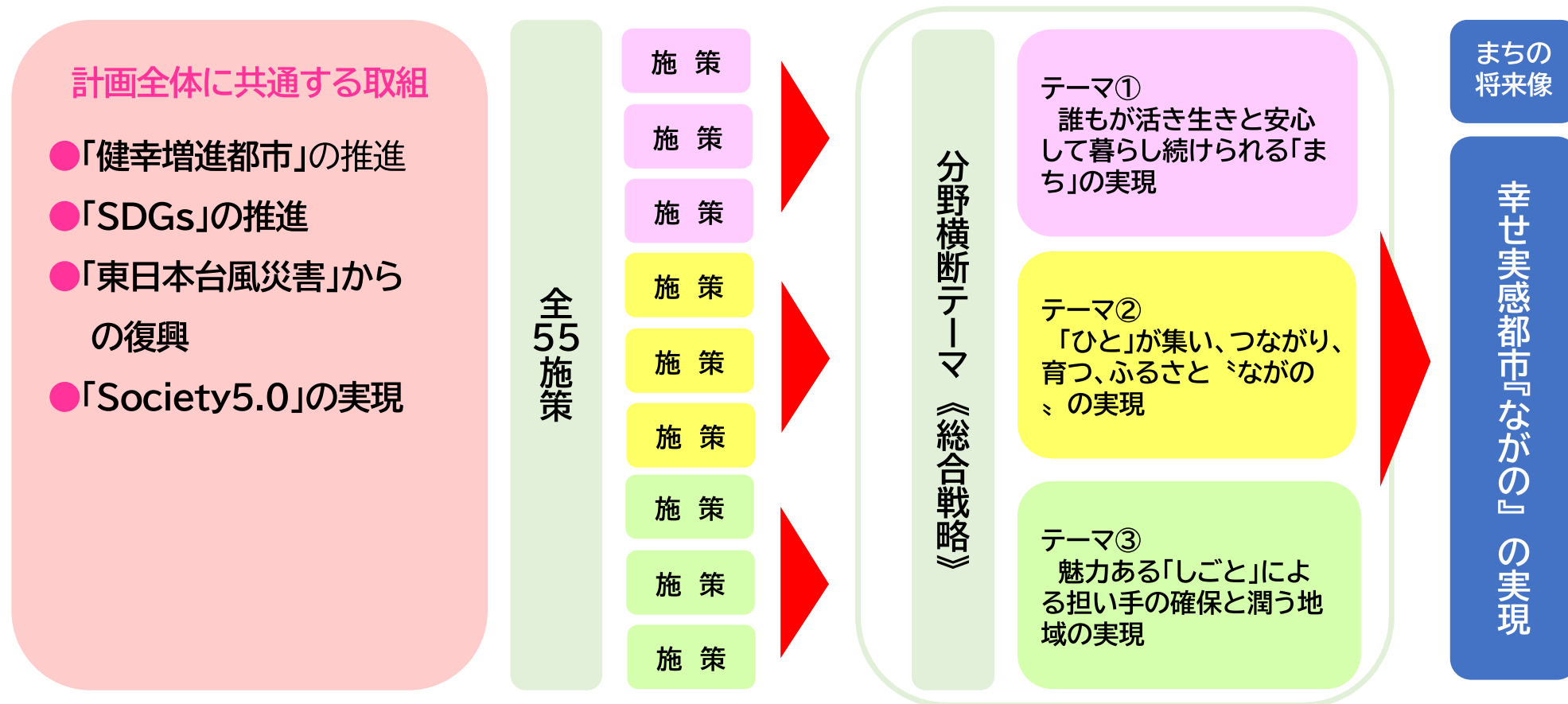


01 総合計画の役割について

(1) 現行計画の振り返りー特徴ー

特徴① <計画全体に共通する取組>

後期基本計画の推進にあたっては、「健幸増進都市」、「SDGs」、「令和元年東日本台風災害からの復興」及び「Society5.0」が計画全体に共通する取組としてのベースとなり、その上に全55施策を立て、さらに分野横断的に取り組む必要があるテーマを総合戦略としている



01 総合計画の役割について

(1) 現行計画の振り返りー特徴ー

特徴② <分野横断テーマ> (総合戦略)

分野横断テーマ①

誰もが生き生きと安心して暮らし続けられる「まち」の実現<住みやすい地域づくり>

分野横断テーマ②

「ひと」が集い、つながり、育つ、ふるさと“ながの”の実現

<移住・定住・交流の促進> <少子化対策・子育て支援>

分野横断テーマ③

魅力ある「しごと」による担い手の確保と潤う地域の実現<しごとの創出と確保>

01 総合計画の役割について

(2) 総合計画策定の意義

- 平成23年の地方自治法改正により、まちづくりの基本的な方向性を示す、基本構想の策定の義務付けは廃止
- 計画の策定及び議会の議決を経るかどうかは、各自治体の判断に委ねられる



- 総合計画は、まちづくりの基本的な方針を示す市の**最上位計画**であり、基本理念に基づいた将来像を実現するための市政運営の具体的な方向性を示すもの
- 急速に進む人口減少や少子高齢化や、加速度的に進化するテクノロジー等、激しい社会変動の中であるからこそ、継続的な発展に向けた総合的かつ計画的な市政運営の指針が必要
- 基本構想については、長野市議会の議決すべき事件に関する条例に基づき、**議決案件**となっている



総合計画は、市の総合的かつ計画的な市政運営の指針を示すものであり、
まちづくりの長期的な展望を市民と共有するために必要な計画

02 現行計画の課題について

(1)計画の構造・期間

現況

- 3層構造
- 基本構想 10年間
- 基本計画 5年間
- 実施計画 1年間

課題

- 将来の予測が困難な時代において、どのような未来にしていくのか10年後の将来像を描くことが困難
- 計画全体の情報量、階層が多く市民から見て難解
- 総合計画や個別計画(50以上)の策定や運用管理における人的、財政的な負担
- 計画管理業務に追われ不足しがちな事業推進に費やす時間の確保

検討のポイント

- 未来のありたい姿から逆算して検討するバックカスティング手法の活用
- 個別計画を含む各計画の位置付け、役割、必要性等を明確にしたうえで、適切な構造及び期間の検討

02 現行計画の課題について

(2)計画の体系・内容

現況

- 基本構想:目指すまちの将来像や目標を実現するための施策の大綱(7分野22政策)
(まちづくりの基本方針、まちの将来像、土地利用構想)
- 基本計画:基本構想に掲げるまちの将来像や目標を実現するために必要な手段や施策の体系(55施策、3つの分野横断テーマ)
- 実施計画:基本計画で定めた施策体系に基づく具体的な事業・取組(毎年の予算公表資料から施策ごとに事業を掲示)
- 施策に基づく50以上の個別計画が存在

課題

- 都市計画マスタープランと基本構想との融合の可能性の検討
- 分野別の施策の大綱や分野横断テーマなど目標や構成が複雑なため難解
- 総合戦略、人口ビジョン、土地利用構想、SDGs、行政改革大綱など計画全体に共通する要素と総合計画との融合
- 実施計画の役割と位置付けが曖昧
- 分野、政策、施策、取組みの体系における総合計画と個別計画の重複
- 個別計画の作成の内容・時期について、基本計画との整合性を図る必要

検討のポイント

- 基本構想として、どこまでの内容・範囲を定義するか検討
- 市民に分かりやすく伝えるための施策体系の工夫(総合計画から個別計画までトータルで検討)

02 現行計画の課題について

(3)市民参画の手法

現況(第5次総合計画策定時)

策定前	策定後
■市民意見・アイデア募集(策定前に様々な方法で市民意見・ニーズを聴取) ➤ 「10年後の長野市の姿」アイデア募集 ➤ 市民意識アンケート(eアンケート) ➤ 市民意識アンケート ➤ 高校生意識アンケート ➤ 市民まちづくり意見交換会(市民とまちかどトーク) ➤ 児童・生徒・学生まちづくり意見交換会(市長と話そう～長野の未来～) ➤ NPO等の市民組織からの意見募集 ➤ 包括連携協定高等教育機関連携協議会からの提案募集 ➤ ふるさとNAGANO応援団からの提案募集 ➤ 市街居住者アンケート ■パブリックコメント(計画答申案に対する意見・提案を募集) ➤ 書面等による意見募集 ➤ ながの未来カフェ開催による意見募集	➤ 市民アンケート調査(毎年) ➤ 幸せ実感モニター(5年間) ➤ 進捗管理の結果公表(毎年)

02 現行計画の課題について

(3)市民参画の手法

課題

【意見交換会・ワークショップ等】

- 幅広い分野・立場の人が参加できる手法
- ワークショップでの意見等がどのように反映されたのか不明瞭になると参加者のモチベーション、満足度に影響を及ぼす可能性

【アンケート調査】

- 進捗アンケートの設問項目が多いため、回答者の負担となっており、回答率の低減につながっている可能性
- 若者世代の回答率の低下

検討のポイント

- 幅広い市民意見を反映できるよう、SNS、メタバース等の活用など意見聴取方法(属性、人数、回数等)について検討
- 計画策定後にも継続的に参画できる仕組みの検討

02 現行計画の課題について

(4)進捗管理・施策評価(PDCAサイクル)

現況

- 統計指標(全81指標)
- アンケート指標(全101指標)
- 分野横断テーマ及び総合戦略の指標(各テーマに関連する施策のアンケート指標及び統計指標の内、目標を達成した指標数)

課題

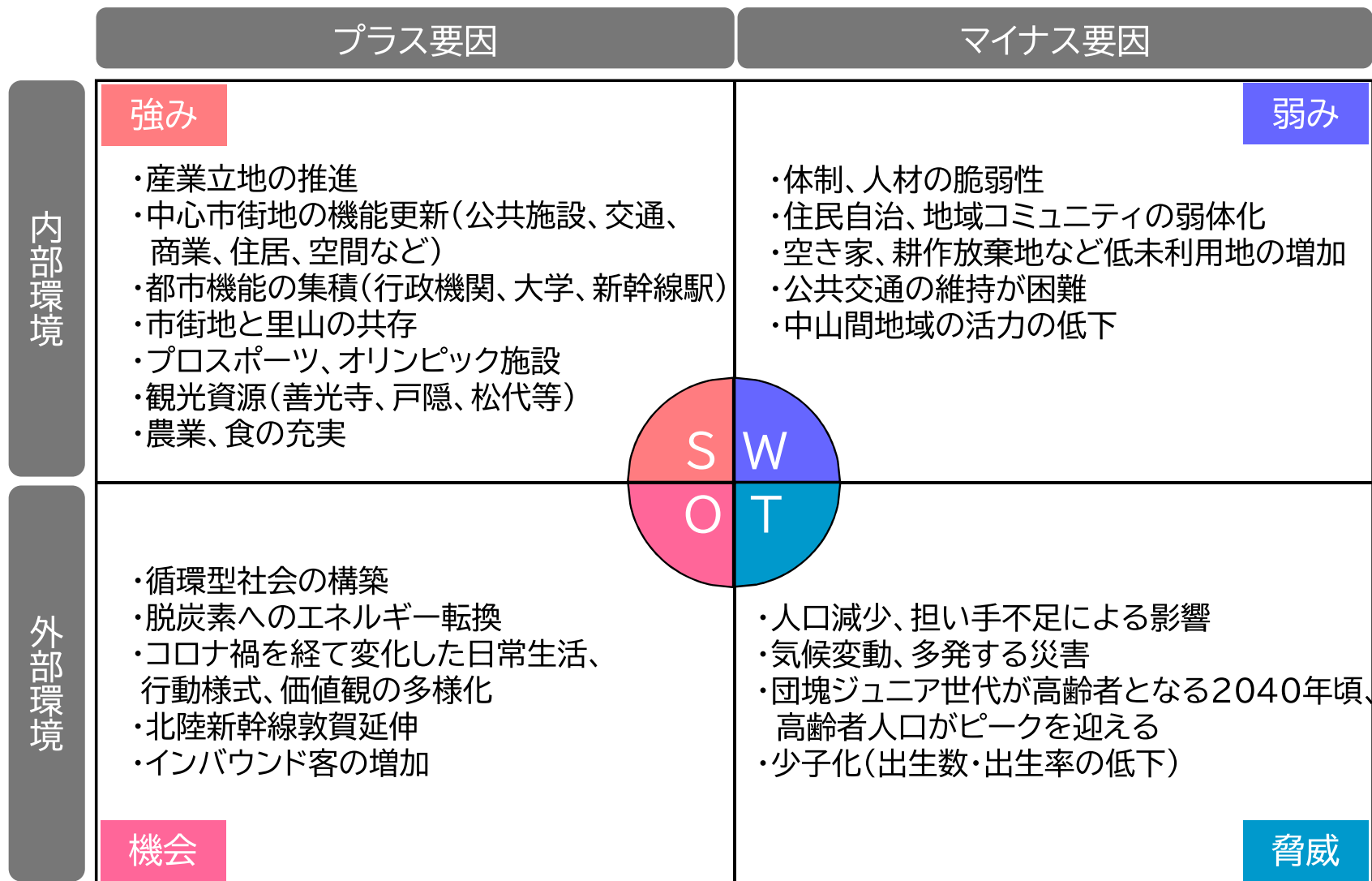
- 指標と施策の関連性が不明瞭
- 進捗管理が形骸化しており、施策事業の改善に向けた活用が不十分
- 各施策体系に応じたアンケート指標及び統計指標の設定
- Well-Being指標の活用方法
- SDGs視点による施策評価の成果検証(3側面のバランス確認に活用できたか)
- データ分析ツールの有効活用(RESAS、統計ダッシュボード、J-STAT MAPなど)

検討のポイント

- 個別計画を含め、適切な指標設定(内容・数)

03 意見交換について

(1)留意すべき社会環境・社会情勢の変化(SWOT分析)



03 意見交換について

(2)意見交換

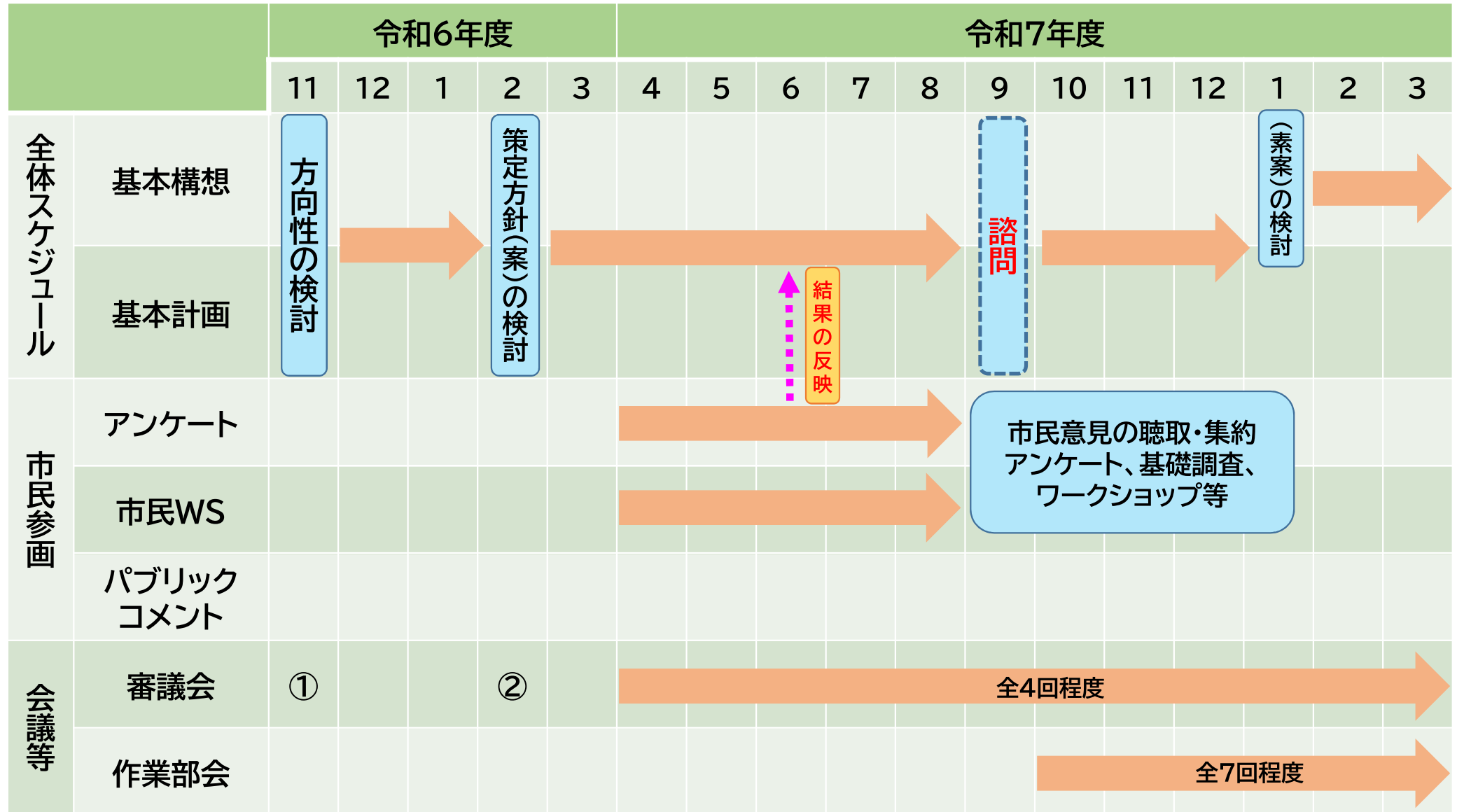
人口減少下における持続可能なまちづくりが必要となる中
次期総合計画を策定していくうえで、**長野市が持つべき視座**について
それぞれの専門分野、立場から意見をいただきたい



Q1 人口減少が進んだとき、社会はどう変わるか？(各立場から)

Q2 その中で、楽しく、幸せに暮らし続けるために必要なことは？

04 次期総合計画策定スケジュールについて【R6～R7】



04 次期総合計画策定スケジュールについて【R8～】

